



学校安全ネットワーク情報

平成22年12月号

Vol. 4

モデル校実践報告会開催

学校安全ネットワーク推進モデル校25校の取組を、防犯ボランティア、地域関係者、PTA、教職員等約700人に紹介する実践報告会を開催しました。

各校は、PTAや地域との連携の促進、防犯活動の見える化の推進、教員・児童の防犯意識の高揚方法などを、具体的に説明しました。後半のパネルディスカッションでは、PTAの苦労話や、地域との連携の課題などが挙げられましたが、体制づくりのノウハウも共有することができました。

“Hello Safety” 沼影小学校

児童数1,150名を超える本校では、従来から学校・保護者・地域・育成会が一体となって児童の安全を守る取組を行っています。

1 登校指導・・・本校では、十数分間に千人を超える児童が一斉に正門へ向かいます。その安全を確保するために教職員は、毎日正門付近の横断歩道や交差点で安全指導を行っています。また、毎週月曜日には、PTAの交通補導部32人が、学区内の交差点等に一斉に立ち児童の安全を確保してくれています。さらに、自治会や育成会の方は、防犯ボランティアとして、毎朝校舎内外を巡回してくれています。

2 あいさつ運動・・・あいさつは、防犯・安全教育につながるものという発想から校内のあいさつ運動に加えて、地域や中学校、校区内事業所等と連携した「あいさつ通り実行委員会」を立ち上げました。学区内に児童の描いたポスターを掲示するなど、あいさつ運動を展開中です。

この他、通学班世話人による地区毎の放課後の巡回活動、週2回の保護者による下校時の安全指導等を積極的に行い、「学校安全ネットワーク」を推進・拡充させ、児童の安心・安全を確保するよう努めています。



“Hello Safety” 河合小学校

本校では、学校安全ネットワーク推進モデル校の委嘱を受ける前から、学校警備員・防犯ボランティア・交通指導員・PTAの皆様に通学路や学校の敷地内外の見守りをしていただけてきました。2学期からは、携帯一斉メールの導入による情報の共有化と、防犯活動の「見える化」に取り組んできました。

携帯一斉メールの導入にあたっては、PTAに費用の面など協力していただき、導入後は、10月と12月に学区内の不審者情報について1回ずつ送信しました。また、修学旅行のバスの帰着時刻の変更をリアルタイムで送信したり、PTAや学校の行事関係の連絡を流したりと有効に活用しているところです。

防犯活動の「見える化」については、教職員や防犯ボランティアの防犯ベスト着用、PTAのパトロール、安全ネットワーク関係のプレート等の設置により活動の啓発と犯罪抑止効果を高めているところです。この取組の中で、防犯ベストを着用した教職員と児童会や6年児童による朝のあいさつ運動を行い、あいさつへの意識が高まり、学校内外でのあいさつの輪が広がったという効果も見られました。今後、地域全体に更なる学校安全ネットワークの輪を広げてまいります。



あいさつの輪を広げる河合小(左)

「あいさつが響き合う地域は不審者を遠ざけ、犯罪の少ないまちづくりにつながる」と、あいさつ運動を展開する沼影小(下)



防犯ワンポイントアドバイス



学校をサポートしてくださる地域の方々とは、コミュニケーションが大切ですね。実践報告会のパネラーからも、防犯ボランティア活動に対する小さなご褒美(学校行事の招待席)がうれしい、との発言がありました。そこで今回は、地域の方々との良好な関係を構築・維持するための取組をご紹介します。まずは、その名のとおり、ありがとう集会の開催、ボランティアさんの写真つきポスターの掲出。運動会や音楽会への優待、金管バンドや踊りの披露、歌のプレゼントなどもいいですね。子どもたちが育てたお米や野菜の配布、銀杏のプレゼントなども報告されています。但し、これらには子どもたちの手紙を添えることを忘れずに。子どもたちの素直な気持ちを伝えれば、地域の方々はきっと応えてくださるでしょう。